

# 認知症サポーター養成講座

5月24日(火)午前10時～11時30分

境港市地域包括支援センター  
保健師  
倉吉看護大学から4年生2名の参加



松本館長あいさつ



「認知症サポーター」とは何か特別なことをするのではなく認知症を正しく理解し認知症の方や家族に寄り添い見守り応援する人です。現在市内でも3000人以上おられます。

今日は、にこにこ会の方たちが紙芝居で認知症の方のごみの出し方で近所の人たちの接し方を一人一人が演じてどのように接したらよいか問題点をみんなで考えることになりました。

保健師さんからのアドバイスを受けながら皆さん熱心に問題点について話し合っていました。



近所の高齢者さん最近顔を見かけないから、心配

介護での疲れや悩み

お金の管理が不安

そろそろ介護保険を利用したい



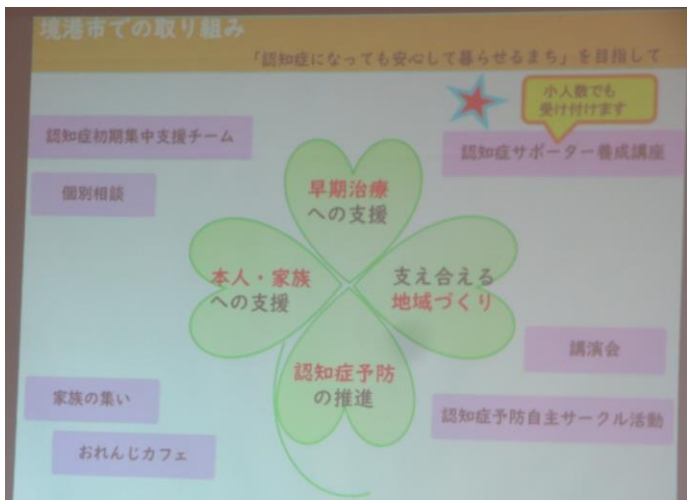
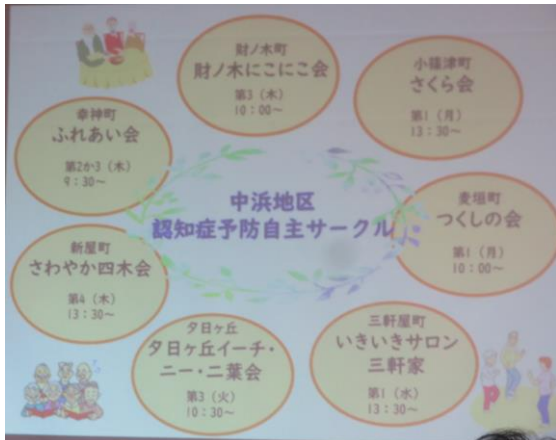
紙芝居を聞いた後3グループに分かれて話し合いました。



- ・ごみの中身が不燃物と可燃物が混ざっていたり出す曜日を間違えていても高圧的な態度で本人の了解もなく中身をチェックすることはいけないので優しく接することが一番だと皆さんの意見でした。
- ・その人に寄り添った対応をしたい。
- ・地域で支えよう。



# 中浜地区のサークル活動



## 認知症になっても 安心してくらするために

- ### 具体的な対応のポイント
- ・ まず見守る
  - ・ 余裕をもって対応する
  - ・ 声をかける時は一人で
  - ・ 後ろから声をかけない
  - ・ 相手に目線を合わせて優しい口調で
  - ・ 穏やかに、はっきりとした話し方で
  - ・ 相手の言葉に耳を傾けてゆっくりと

認知症サポーターのできること  
 「何か」特別なことをする人ではありません  
 ☆認知症について正しく理解・偏見を持たない  
 ☆認知症の人や家族に対して温かい目で見守る  
 ☆認知症の人への「応援者」  
 ☆他人事として無関心ではなく  
 「自分たちの問題である」

「温かい目で見守る」  
 地域で・・・職場で・・・家庭で

**困った時には地域包括支援センター**  
 認知症の方への対応に困った時にはには  
**地域包括支援センターへ**  
 ↓  
**専門職が対応、必要な専門機関  
 に引き継ぎます。**  
**電話 47-1131 FAX 44-2120**



養成講座後に目印となる  
サポーターリング